

オーストラリア留学

私はオーストラリアのブリスベンという都市に8月3日～8月19日の約2週間、ホームステイ留学をしました。私の留学先機関は語学学校（Shafston International College）で英語や文化、自然環境について学ぶことができました。

オーストラリア/ブリスベンはこんなところ

- ・朝は10～15度、昼は20～25度（朝は長袖、昼は半そでで丁度良い）
- ・日用品等は安いけど飲食代が高い
- ・基本的に歩行者信号は押しボタン式
- ・集合時間は日本よりもルーズ（遅刻している人も結構いたが、先生たちは気にしていなかった。でも、アクティビティの時に集合に遅れ過ぎて置いて帰られている人もいた）
- ・ゴルフ場にカンガルーが集団で現れる

Shafston International College

- ・学校には台湾人や中国人もいたが、日本人が大半を占めていた



平日のスケジュール

8:30

授業（オーストラリアについてを英語で学ぶ）

10:30

休憩

11:45

授業（オーストラリアについてを英語で学ぶ）

12:45

昼食

13:45

アクティビティ（動物とのふれあい、博物館、美術館など）

16:30

オーストラリアの生活&文化

EKKA

このお祭りの起源は農業収穫祭で、クィーンズランド州各地の農家や事業者が成果を競うお祭りです。EKKAは毎年8月に10日間にわたって催されます。クィーンズランド州の春の訪れ訪れを告げる風物詩として1876年に初めて開催されました。会場は遊園地のようにっており、屋外は観覧車などのアトラクション、動物のショー、屋台で埋め尽くされています。屋内は、ゲームセンターのような感じです。また、子供向けのものから大人向けのものまで様々なショーバック（福袋）が売られています。このお祭りには毎年40万人の人が訪れているそうです。



外国は食事の量が多いというイメージでしたが、日本よりも少なかったのが驚きました。（ホームステイ先によって異なるとは思いますが、同じ学校に通っていた友達も同意見でした）それに対して、間食として買ったスイーツやドリンクの量はとても多かったです。



ある日の夕食

- ・パイ
(中身はミートソースで味付けしたひき肉)
- ・茹でたにんじん
- ・フライドポテト

<トビタテ留学を通して学んだこと>

私は動物や自然について学びたいということで、トビタテを利用してオーストラリアへ留学しました。ブリスベンは大きな都市で高いビルが多くありましたが、ごみもなく清潔感のある街並みでした。また、公園内だけでなく芝生があちらこちらにあり、木々も多く自然が豊かな場所でした。広場のような場所には分別のごみ箱が色々なところがあり、市民がきちんと活用していたため、ポイ捨て防止に繋がっていました。また、最近問題になっているプラスチック製のストローですが、オーストラリアでは紙製のものが使用されており、このような取り組みが環境保全につながっていると思いました。日本とオーストラリアでは文化の違いが多くあり、自分の計画通りにいかないこともありました。ですが、そのようなことも全部含めて良い経験になったと思います。今回の留学で私は、学校の先生や家族にはもちろん、Shafston International Collegeの先生、ホストファミリーなど本当に多くの人に支えてもらっていると実感しました。今も感謝の気持ちでいっぱいです。これからもこの気持ちを忘れずに、留学で学んだことを活かしていきたいです。